

IMとRの素敵な関係

Illness Management and Recovery

NO. 1

IMR実行委員会

R2年3月

IMRついに始動

昨年の秋、IMR（疾病管理とリカバリー）が始動しました。当面はデイケアセンター「リカバリー」のプログラムとして開催予定です。今年度はプレIMRを行い、参加者や講師の先生方へのご理解、ご協力、志を共有させていただく事を大切にしたいと思います。

今年4月、本格始動！

IMRとは

I - Illness
M - Management ⇒ 疾病管理とリカバリー
R - Recovery

〔日本語訳〕

IMR = 動機付け面接+心理教育+SST

私たちはこう考えます

『RのためにIMがある』と

心理教育とSSTで構成されているIMR。時に知識や情報の伝達が目的になってしまったりがあります。知識や情報の伝達は手段であり目的ではありません。

「困難を乗り越える技術や現実に立ち向かう力」、「困難を解決できる自信」、「自己決定、自己選択ができる」と、そしてリカバリーに気づき育てていくことが目的です。

IMRのメッセージ 中核的な価値

- 1、希望と楽観主義
- 2、当事者自身が自分の疾患についての専門家である
- 3、個人の選択の自由
- 4、専門職は協働者である
- 5、専門職は当事者への敬意を示す

今回取り上げるのは…



1. 希望と楽観主義

- 最も重要な価値觀
○安易な樂観主義ではない

今まで諦める事の多かった当事者自身が、希望を抱き、「なんとかなる。やってみよう！」の精神で今後の人生を歩めるように…
リカバリーできるんだ！と胸を張って生きていく様子に…

プレゼンで賛同者を募る

講師の先生方へプレゼンテーションを行いました。ご理解を頂き、プレゼン後の作戦会議にもお付き合い頂きました。

貴重なご意見を頂戴し思いと志を共有させていただきました。このメンバーで行うIMRは「希望」に満ち溢れています。

ご関心のある方は是非、実行委員までお声かけ下さい！



ご賛同いただけた方が増え、リカバリーが身近にある職場を目指します！

プレIMRを行いました

9～11月の3ヶ月間、試行的にIMRを行いました。計6回の開催の中で垣内先生や定岡薬剤師には講師として、益田先生や瀬川心理士にも参加頂き、自身のリカバリー目標を考えてみたり、疾病やお薬について学ぶ機会を得ました。



何より印象的だったのが、皆さんのこの笑顔でした☆

実行委員のご紹介

私はこんな人です
①名前 ②座右の銘
③趣味 ④一言ボヤキ

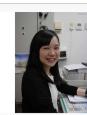
- ①田立 龍之介 ②照一隅
③一人遊び ④LDH



- ①森 かおり ②初心忘れるべからず
③嵐を見ること、野球観戦、陸上コーチ
④ポジティブに生活していきたい



- ①千嶋 加奈 ②笑う門には福来たる
③旅行 ④人生楽しんだもん勝ち



- ①高林 寛和 ②継続は力なり
③仕事 ④とりあえずやってみませんか



- ①加藤 慎一 ②自由奔放
③料理 ④人生は旅だ



- ①田島 菜月 ②足るを知る
③間取り図を書くこと
④する～（ゆっくりと）



みなさんのご理解とご協力を願い致します。